

一般社団法人 日本フルードパワー工業会

本 部：〒105-0011 東京都港区芝公園3丁目5-8号 機械振興会館内
 TEL. 03 (3433) 5391 FAX. 03 (3434) 3354
 西日本支部：〒663-8133 兵庫県西宮市上田東町4-97 甲南電機(株) 本社内
 TEL. 0798-40-6600 FAX. 0798-40-6645

平成30年年始の会開催

皆様、新年明けましておめでとうございます。
 本年もどうぞよろしくお祈りいたします。

さて、恒例の平成30年の年始の会が1月11日(木)午後3時より東京プリンスホテル2階の「マグノリアルーム」において開催されました。当日は、永久会長、臼井副会長、宮内副会長、石川副会長、北畠副会長、松井監事、古川監事等役員に加え会員64社から124名が、また、来賓として経済産業省大臣官房審議官製造産業局担当の上田審議官、JFPS学会の小山会長、関連業界から多数の役職員等123名が総計で247名余のご出席のもとフルードパワー業界の新年の門出を祝いました。当日は、定刻に事務局



挨拶する永久会長

主 要 目 次

ISSN. 1345-2371

平成30年年始の会開催・・・・・・・・・・1	技術調査事業・・・・・・・・・・6
委員会開催・活動状況	今後の主要行事予定・・・・・・・・・・7
標準化事業／規格事業・・・・・・・・・・4	統計資料・・・・・・・・・・10

(一社) 日本フルードパワー工業会

URL <http://www.jfpa.biz/>

から「これより一般社団法人日本フルードパワー工業会の平成30年年始の会を開催いたします」との開会の挨拶があり、初めに当会の永久会長から以下のご挨拶がありました。

「新年明けましておめでとうございます。ご紹介いただきました日本フルードパワー工業会会長の永久でございます。本日の私どもの年始の会に多数の皆様方にご参集いただき誠に有難うございます。平成30年の念頭にあたり、一言ご挨拶を申し上げます。

さて、お正月はふと目にした風景に静寂と美しさを感じる瞬間があります。初詣に地元の小さな神社へ向かう小路や交通量が少ない都会の街路に静謐な空気が流れ、日本の平和を感じる瞬間です。本年も平穏な年であることを願って止みません。ところで、昨年を振り返りますと、12月に発表された日銀短観のDIが、リーマン・ショック以前より高い水準である17%に達し、昨今の景況感が持続していることからわかるとおり、企業部門では生産の増加基調が続く、輸出も底堅く推移し、株価もNYや東証等世界的に堅調に推移しており、明るい材料となっております。

我々フルードパワー業界を取り巻く景況も、まだ模様ながら、概ね良好のうちに推移したと思っております。こうした中、当会では昨年4月に発表した需要予測の見直しを10月に行い、ご承知の通り、全体では8,500億円近くに達するとの上方修正をさせていただき、まだ正確な数字は出ておりませんが、概ねこの数字に落ち着いていくものと期待しております。

さて、本年を展望いたしますと、国内需要は旺盛な建設需要等に加え、人手不足感が強まる中で底堅く推移し、海外経済も欧米や中国を中心に引き続き堅調さが見込まれ、輸出を中心に増加基調が期待され、当業界も底堅い内外需を背景に緩やかな回復基調が続くものと期待しております。

また、グローバル化に反しての、新たなナショナリズムの台頭や地政学的リスクの発生による不確実性は、益々高まる懸念があり、事業を取り巻く環境は複雑さを増してきていると思います。さらに、ビジネスにおいては、新たな技術の高度化によりIoT、AI、自動運転等産業構造を大きく変化させる起爆剤になる可能性があり、そこには新たな事業機会、収益機会が生まれてくると言われています。経営者にとってリスクに対応するための俯瞰的な視点と、変化を恐れないチャレンジ精神が一層、求められているのではないでしょう

か。当工業会は、先程の理事会の中で、来年度の事業計画を議論いたしました。そこで、

- ①「会員のための工業会」として、最新の国際情勢、技術動向等会員の求める情報の収集・発信を行うこと、
- ②フルードパワー産業の発展に寄与する技術基盤を確立していくために標準化活動を含め、産学連携事業の一層の充実・活性化を行うこと、そして、政府が進める「人づくり改革」の一環ではありませんが、
- ③会員企業の若手技術者育成のための施策の検討及びその実施を工業会活動の主な柱とすることが決まりました。

これらの諸事業を強く着実に実施していきたいと思っている次第です。

最後になりますが、本年のフルードパワー産業の飛躍と会員企業のご発展、またここにご参集の皆様方のご健勝を祈念して、甚だ簡単ではございますが、私の年頭のご挨拶とさせていただきます。

続いてご来賓を代表して経済産業省製造産業局担当の上田審議官より、以下のご挨拶を頂きました。

「新年明けましておめでとうございます。本日は、日本フルードパワー工業会の「年始の会」ということで、かくも盛大に開催をされましたことを心よりよりお喜び申し上げます。

新年を迎えますと、こういった新年の会に出席をする機会がある訳でございますけれども、今年は特に昨年と少し雰囲気が違うなという具合に感じているところでございます。少しずつ明るい兆しが見えてきているのではないかという声をよく耳にしているところでございます。

国全体としては、先ほどもお話がございましたけれども、昨年1年間、名目GDPが56兆円の増加、正社員の有効求人倍率が1倍を超えたこと、さらには企業収益、これも業種によって斑ではございますけれども過去最高水準を記録するといったこともありまして経済の好循環、これが着実に実現をしつつあるという具合に思っているところでございます。

経済成長の果実を中小企業も含めて全国津々浦々に広げるというためにも国としても引き続き「生産性革命」でありますとか、「人づくり革命」、こういったことを含めて重要政策の課題にしっかり取り組んでいきたいという具合に思っているところでございます。また今年は、やはり一言で言うならば、「変革の年」ということであるかと思っております。



ご挨拶をする上田審議官

このような変革な時代を勝ち抜くために、我々は産業の在り方として提唱をしております「コネクテッド・インダストリーズ」の実現が一つのカギになるという具合に考えているところでございます。

「コネクテッド・インダストリーズ」というのは、様々な業種、企業、人、システム、データ等々が、つながり、連結をして、新たな価値の創出でありますとか、あるいは社会課題の解決を目指していくというものでございます。

国としても「コネクテッド・インダストリーズ」を推進すべく、特に皆様方のこの協調して取り組む領域、ここに焦点を当て、例えばリアルデータの共有の仕組みや既成のサンドボックス制度の創設といったようなことを中心に取り組んでいきたいという具合に思っているところでございます。

フルードパワー業界について申し上げますと、いうまでもございませんが世界的な IT 市場の拡大、あるいは設備投資の回復による輸出の増加、さらには中国を中心とした土木建設機械、農業機器の需要の増加等々もあり、先ほども話ございましたけれど、今年度の出荷の見込みも前年度に比べると増額という具合に聞いているところでございます。

また、新たな水圧のシステム、「アクア・ドライブ・システム (ADS)」、このような技術開発を行うとともに、普及促進に向けた ADS の国際標準化活動にも取り組まれているという具合に聞いております。利便性とか安全性等に優れているこの技術は、食品産業とか、医療、福祉・介護等々においても注目されており、新たな市場創出を目指した重要な取り組みの一つという具合に認識をしているところでございます。

さらに、昨年開催された国際見本市「IFPEX2017」においては、「つながる未来へのフルードパワーのものづくり」をテーマに掲げ、ロボットへの応用等未来

につながる国のパワーシステムの最新技術を活かした様々な製品が世界に向けて発信をされ、我が国の技術を世界に印象付けてこられたのではないかとという具合に思っております。

このような取り組みは、まさに先ほど申し上げました「コネクテッド・インダストリーズ」、これを具現化するものでありまして、引き続き、これまで培われてきたものづくりの技術力でありまして、優秀な人材、製品から得られるデータ等々を活用していただいでですね、新たな付加価値を見出していくことを期待しているところでございます。



盛況な年始会会場

今後、「ものづくり」におきましては、新興国企業による追い上げもございまして、日本企業が、いかなるフロンティアを獲得していくのか、ということが問われてくるのかなと、もう「ものづくり」だけでなく、「ものづくり」プラスアルファということが求められるのではないかと、いう具合に思っております。

このため、我々としては、一つは「スピードあるアクション」、二つ目としては「個性ある経営」、三つ目としては「大胆な挑戦」といったところがキーワードではないかという具合に考えております。

今一度、たいへん僭越ではございますけれども、皆様、挑戦者の意識に立ち戻っていただいて、各企業の創意工夫のもと、新たな発展の道を切り開いていただきたいという具合に思っておりますし、経済産業省としても皆様方の積極果敢な取り組み、これについてはしっかりと後押しをしていきたいという具合に思っているところでございます。

最後になりましたけれども、フルードパワー業界のさらなる発展と、本日ご参集いただきました皆様方のご健勝を祈念いたしまして私の挨拶とさせていただきます。」

その後、懇親会に移り 16:40 頃に和気あいあいのうちに散会しました。

第 82 回理事会の開催

年始会開催の前の 13:30 より同ホテルで第 82 回理事会を開催しました。初めに事務局から本理事会への理事の出席状況について報告を行い本理事会が有効に成立している旨説明しました。永久会長が会議の開催を宣し、議事録署名人として監事 2 名を指名、また、ご来賓のお話は、後程お見えになる経済産業省製造産業局産業機械課の片岡課長から何う旨説明審議に入りました。はじめに永久会長から第 81 回理事会以降の会長の業務報告を行い、以下の議事の審議に入り、議案は全て承認・了承されました。

第 1 号議案

平成 30 年度事業計画及び収支予算（案）の件
平成 30 年度の事業計画及び収支予算（案）は前年度中に理事会の承認を得ることが定款で定められているため、12 月の月報で報告した平成 30 年度事業計画及び収支予算（案）の内容を一部加筆修正したものを説明しました。また、併せて来年度の補助金等の申請状況についても説明しました。永久会長は本件を議場に諮り、異議なく承認されました。

第 2 号議案

第 19 回定時総会の開催の件

定時総会の開催に係る事項については、あらかじめ理事会の承認を得ることが必要です。そこで、本年 5 月 17 日（木）開催予定の定時総会に提案する議案について説明しました。永久会長は本件を議場に諮り、異議なく承認されました。

第 3 号議案

会員の入会について

賛助会員として入会したい旨の申請があったため、説明し、了承されました。

第 4 号議案

その他

業務執行理事である専務理事の業務執行状況の説明と最近の出荷動向・今後のスケジュール等について説明しました。以上で審議を終え 14:30 よりご来賓の片岡産業機械課長から最近の経済動向等についてのお話を伺い 14:50 頃に終了しました。

その後、15:00 より「マグノリアルーム」において平成 30 年の年始の会の懇親会を開催しました。



第 82 回理事会

委員会開催・活動状況報告
(詳細については各担当者にご照会下さい)

~~~~~  
標準化事業／規格事業  
~~~~~

油圧フィルタ・作動油分科会

日 時 1 月 15 日（月）10:00 ～ 16:30

場 所 機械振興会館 6-64 会議室

出席者 難波主査以下 9 名

事務局 前畑

議 事

前回議事録の確認後、次回（2018/10）の ISO/TC131/SC6 国際会議のスケジュール案が配信されたため、情報を共有化した。

次いで、継続審議中の JIS B 9938（難燃性作動油の使用指針）について、改正案を審議した。前回に引き続き、ISO 7745 の原文との比較を行いながら JIS 原案の修正作業を行い全文の修正を終了した。次回は日本規格協会の担当者も参加してもらい、規格調整提出前の最終審議を行うこととした。

次回開催：2 月 14 日（水） 機械振興会館

JIS 原案作成本委員会

日 時 1 月 16 日（火）13:30 ～ 15:30

場 所 機械振興会館 6-62 会議室

出席者 香川委員長以下 11 名

事務局 前畑、千葉

議 事

香川委員長（東京工業大学特命教授）の開会挨拶後、各委員の自己紹介を行った。その後、本日の議題である「JIS B 8376 空気圧用速度制御弁」の JIS 原案の審議を行った。審議の結果、技術的内容にかかわる修正事項は特にないため、各委員からの軽微な指摘事項について事務局で修正を行い日本規格協

会へ提出することとした。

空気圧流量測定分科会

日 時 1月18日(水) 13:30~16:30

場 所 機械振興会館 5S-4 会議室

出席者 妹尾主査以下 10 名

事務局 前畑

議 事

前回議事録の確認後、ポケットブック改訂について討議した。まずは、本分科会の対象となる目次項目について各委員にて検討し、次回会合時に持ち寄り検討することとした。

次いで、以前から ISO 規格に提案があった有効コングダタンスについて、NP 提案し投票にかけたい旨事務局（アメリカ）から連絡があり審議討議した。

次いで、JIS B 8372-3（空気圧-空気圧用減圧弁及びフィルタ付減圧弁-第3部：減圧弁の流量特性の代替試験方法）の改正について、前回に引き続き ISO 6953-3 原文と比較しながら原案修正作業を実施した。

次回開催：4月5日(木) 機械振興会館

油圧システム分科会

日 時 1月19日(金) 13:30~16:30

場 所 機械振興会館 6-63 会議室

出席者 町田主査以下 6 名

事務局 前畑

議 事

前回議事録の確認後、以前投票した案件の PL 見解が回答されたので、内容について確認した。日本からの提案については承認項目が少なく、次回ロンドン国際会議（2018/5）で議論されるとのこと。

次いで、次回ロンドン国際会議のスケジュール等について情報を共有化した。

次いで、ポケットブック改訂について討議した。ポンプ回転数制御システムの詳細記述及び保守管理について改訂の必要があるとの意見が出された。各委員にて検討し、次回会合時に持ち寄り再度検討することとした。次いで、JIS B 0125-1（油圧・空気圧システム及び機器-図記号及び回路図-第1部：図記号）の改正について、前回に引き続き原案修正作業を実施した。

次回開催：4月13日(金) 機械振興会館

空気圧制御技術分科会

日 時 1月24日(水) 13:15~16:15

場 所 機械振興会館 B3-8 会議室

出席者 渡辺主査以下 7 名

事務局 前畑

議 事

前回議事録の確認後、空気圧機器と上位機器とのインターフェースに関する用語の制定について討議した。用語抽出の範囲として、①PLC と上位機器との通信、②PLC によるデジタル制御、③アクチュエータの制御信号、④電動アクチュエータの仕様、に分類し調査することとした。

次いで、ポケットブック改訂について討議した。今年度に改正した JFPS 2025（空気圧-スイッチ（センサ）用語）を盛り込む必要があるとの意見が出された。各委員にて再度検討し、次回会合時に持ち寄り審議することとした。

次回開催：4月25日(水) 機械振興会館

油空圧シール分科会

日 時 1月25日(木) 13:30~16:30

場 所 機械振興会館 B3-7 会議室

出席者 南主査以下 11 名

事務局 前畑

議 事

前回議事録の確認後、JFPS 1003（油圧シリンダ用パッキンの使用・選定指針）の見直しについて討議した。パッキン形状と材料に関して、ウレタンゴム材の V パッキン及び布入りゴム材の U パッキンは市場での使用実績が皆無なので、今回の見直しにて削除することとした。また、最高使用圧力に関しては、シールメーカー各社にて事前に刷り合わせをした後、ユーザー（機器メーカー）を含めて協議する必要があるとの意見があり、シールメーカー各社のみで別途小委員会を開催することとした（3月6日(水) 機会振興会館）。次いで、JIS B 2401-1（O リング-第1部：O リング）材料規格の見直し、ISO 3601-2 について討議した。次に、ポケットブック改訂について討議した。各委員にて問題点を検討し、次回会合時に持ち寄り審議することとした。最後に、投票に掛かっている ISO 3601-1/PDAM 1 について審議した。審議の結果、ドイツ提案は受け入れられず、反対にて投票することとした。

次回開催：4月10日(火) 機会振興会館

蓄・増圧器分科会

日 時 1月30日(火) 13:30~15:30

場 所 機械振興会館 6-63 会議室

出席者 齊藤主査以下 3 名

事務局 前畑

議 事

前回議事録の確認後、JIS B 8358（油圧—ブラダ形アキュムレータ）の改正について討議した。本案件は、JIS 廃止 3 件（JIS B 8397、JIS B 8398、JIS B 8399）を含むため、経済産業省の事前ヒアリングが実施され、提案通り了承されたことが報告された。内容については、ポケットブックに記載の内容と整合を取り改正することとした。

次いで、ポケットブック改訂について討議した。アキュムレータ計算式の一部の圧力単位が絶対単位か否かの区別を明記する等修正が必要であるとの意見が出された。各委員にて問題点を検討し、次回会合時に持ち寄り審議することとした。

次回開催：4月18日（水）機械振興会館

~~~~~

## 技術調査事業

~~~~~

ADS 国際標準化推進・規格小委員会（第3回）

開催日 1月17日（水）

場 所 機械振興会館 6-63 会議室

出席者 吉田主査以下 7 名

事務局 宮川幹事、大橋

議 事

吉田主査の司会進行により、まず配布資料「ADS 通則規格（案）全体集約」についての説明を行った。その後、各委員担当分の補足解説について討議し、全体的な意見交換を行い、1/24 までの各担当 G 作業として、主査作成の市場と技術の連関表を埋めていくこととした。また、今後の日程についても説明があった。

次回開催：2月15日（木）JFPA 事務所会議室

ADS 国際標準化推進委員会（第5回）

開催日 1月26日（金）

場 所 機械振興会館 6D-3 会議室

出席者 山口委員長・池尾委員長代行以下 17 名、
及び WG 参加学生 10 名

事務局 藤原、宮川、千葉、前畑、大橋

議 事

1. ADS 国際標準化委員会終了に当たって

事務局の責任者である藤原専務より、第3年度の最終委員会開催に際しての挨拶と ISO 再提案に向けた来年度以降の活動の方向性について説明があった。また、新たに参加した大野淳一アドバイザーより ISO への提案に際しての注意事項等についても説明

があった。

2. 第1回規格小委員会報告

上記を受けて、宮川幹事より ISO 規格原案の作成の考え方と、それに基づき 10/18 に実施した規格小委員会の概要報告及び今後の予定を説明した。資料として ADS 国際規格案の構成（案）を配布した。

3. 平 29 年度 WG 第 4Q 実績経過と結果

配布資料及び発表用資料に基づき、各 WG から実施経過と結果、本年度のまとめに向けての日程などが報告され、質疑応答が行われた。本年度成果報告書添付用として、これまでに公表した論文を事務局宛に提出するよう依頼した。

今後の進め方は、基本方針が固まった段階で大学訪問により詰めていくこととした。

次回開催：

第4回規格小委員会 2月15日（木）会館 311

技術委員会空気圧部会第 543 回特許分科会

日 時 1月26日（金）13:00 ~ 17:00

場 所 機械振興会館 6-61 会議室

出席者 栗盛幹事以下 6 名

事務局 吉田

議 事

はじめに前回議事録及び配付資料の確認を行った。公報の検討と無効理由調査について審議した。2 件については引き続きウォッチングを継続することとした。1 件については参考資料と証拠資料が提出された。引き続き調査を行うこととした。1 件については今回で調査を終了することとした。2 件については今回新たな資料の提出はなかったが引き続き調査を行うこととした。

次回開催：2月23日（金）名古屋国際センター
第6会議室

技術委員会油圧部会若手技術者懇談会

日時 1月29日（月）13:30 ~ 18:30

場所 (株)日立産機システム・ドライブシステム事業部

出席者 伊藤和巳部会長以下 10 名

事務局 大橋

概 要

油圧部会の平成29年度第2回目となる工場見学会は、(株)日立産機システム・ドライブシステム事業部殿のご厚意により、習志野事業所の見学をさせていただいた。

当社は、1910年に日立製作所にて製品化した5馬力の三相誘導電動機を出発点とした電動機とその周辺技術を受け継ぎ、2002年に分離独立、関連数社が

統合して発足している。製造品目は、サーボモータを含む各種電動機を中心にインバータ、PLC や制御機器などの関連製品、変圧器などである。また、空気圧システム事業部ではレシプロ、スクリュー、スクロール式の空気圧縮機や関連機器なども扱っている。

最初に生産管理部課長の首藤昇様から会社紹介のプレゼンを受け、サーボモータ、エレベータ用モータ、制御盤などの製造工場とショールームを見学した。見学後は3班に分かれてのグループ討議により、見学しての印象・感想をまとめ発表を行った。

その後、副事業部長の小俣 剛様から、「電動から見た油圧の長所と短所」と題する講演をしていただいた。日立建機殿とのバッテリーショベルの共同開発、射出成形機用電動サーボシステムの開発などの実績と経験から得られた「油圧と電動」の比較が述べられ、参加者一同興味深く拝聴した。



ご講演中の小俣様

終了後の懇親会では、小俣様の参加も得て、喉を潤しながらの質疑応答や若手同士の歓談により、第1回に引き続き一層の懇親を深めた。

2回にわたる懇談会の概要は、機関誌「フルードパワー」春号に報告記事として掲載する予定。



集合写真/参加者と小俣様(右)、首藤様(左)

~~~~~  
今後の主要行事予定  
~~~~~

*平成30年

☆2月8日(木) 国際・中小企業委員会合同講演会
(場 所) 機振会館

☆2月22日(木) 技術講演会
(場 所) 機振会館

☆3月29日(木) 第27回政策委員会
(場 所) 当会会議室

☆4月20日(金) 第83回理事会及び懇親会
(時 間) 15:30~16:50

(場 所) ザ・プリンスさくらタワー
高輪

2F「コンファレンスフロア」

☆5月17日(木) 平成30年度(第19回) 定時総会

(時 間) 15:30~16:50

(場 所) 東京プリンスホテル芝公園
サンフラワーホール

同懇親会場

(時 間) 17:00~18:30

(場 所) 東京プリンスホテル
マグノリアホール

☆5月18日(金) 第56回JFPA 懇親ゴルフ会

(場 所) 程ヶ谷ゴルフ倶楽部スタート

OUT 3組

IN 3組

☆11月1日(木)~6日(火) JIMTOF2018

(場 所) 東京ビックサイト

~~~~~  
1月に開催された当会各委員会に出席された皆様は以下の通りです。(敬称略)  
~~~~~

(標準化事業/規格事業)

油圧フィルタ・作動油分科会

開催日 1月15日(月)

出席者

主 査 難波竹己(日本ポール)

委 員 三好真介(MORESCO)

〃 一ノ瀬健夫(SMC)

〃 富澤愛喜(ボッシュ・レックスロス)

〃 水上敬(リオン)

〃 山田高志(大生工業)

〃 相場宣慶 (東京計器)
〃 大塚宏行 (油研工業)
アドバイザー 千葉誠 (JFPA)

JIS 原案作成本委員会

開催日 1月16日(火)

出席者

委員長 香川利春 (東京工業大学)
委員 北川能 (東京工業大学)
〃 古田豊 (日本規格協会)
〃 庄野勝彦 (日本産業機械工業会)
〃 大槻文芳 (日本工作機械工業会)
〃 長谷川務 (トヨタ自動車)
〃 菊地治彦 (東芝機械)
〃 原口秀夫 (パナソニック)
〃 石毛浩二 (クロダニューマティクス)
〃 河野喜之 (甲南電機)
〃 渡邊陽 (コガネイ)

空気圧流量測定分科会

開催日 1月18日(木)

出席者

主査 妹尾満 (SMC)
委員 大竹崇 (CKD)
〃 佐々木政彰 (アズビル TACO)
〃 進藤克己 (クロダニューマティクス)
〃 斉藤悠 (コガネイ)
〃 浅里信之 (ニッタ)
〃 八手又秀浩 (日本ピスコ)
〃 香川利春 (東京工業大学)
〃 眞田一志 (横浜国立大学大学院)

アドバイザー 千葉誠 (JFPA)

油圧システム分科会

開催日 1月19日(金)

出席者

主査 町田哲治 (東京計器)
委員 山本裕 (ボッシュ・レックスロス)
〃 中川幸隆 (川崎重工業)
〃 城ヶ崎正生 (豊興工業)
〃 渋谷文昭 (東京計器)

アドバイザー 千葉誠 (JFPA)

空気圧制御技術分科会

開催日 1月24日(水)

主査 渡辺敏之 (TAIYO)

委員 米田充基 (CKD)

〃 楊春明 (SMC)
〃 金子幸夫 (コガネイ)
〃 高橋隆通 (甲南電機)
〃 鈴木一成 (妙徳)

アドバイザー 千葉誠 (JFPA)

油空圧シール分科会

開催日 1月25日(木)

出席者

主査 南暢 (日本バルカー工業)
委員 北川泰章 (CKD)
〃 宮本博夫 (NOK)
〃 中尾雅司 (NOK)
〃 寺島剛資 (エア・ウォーター・マッハ)
〃 小田敏裕 (甲南電機)
〃 但木郁夫 (荒井製作所)
〃 太田正貴 (阪上製作所)
〃 相場宣慶 (東京計器)
〃 北村剛 (油研工業)

アドバイザー 千葉誠 (JFPA)

蓄・増圧器分科会

開催日 1月30日(火)

出席者

主査 齊藤理人 (日本アキュムレータ)
委員 伊藤達夫 (KYB)
アドバイザー 千葉誠 (JFPA)

(技術調査事業)

ADS 国際標準化推進・規格小委員会 (第3回)

開催日 1月17日(水)

主査 吉田太志 (KYB)

委員 大林義博 (KYB)

〃 細井耕平 (堀内機械)
〃 田邊康伸 (廣瀬バルブ工業)
〃 村田秀紀 (阪上製作所)
〃 鳥居良介 (阪上製作所)
〃 岩崎宏文 (イハラサイエンス)

ADS 国際標準化推進委員会 (第5回) 及び

ADS 国際標準化推進小委員会 (第3回)

開催日 1月26日(金)

出席者

委員長 山口 惇 (横浜国立大学)
委員長代行 池尾 茂 (上智大学)
委員 桜井康雄 (足利工業大学)
〃 眞田一志 (横浜国立大学)

// 鈴木健児 (神奈川大学)
 // 飯尾昭一郎 (信州大学)
 // 柳田秀記 (豊橋技術科学大学)
 // 吉田太志 (KYB)
 // 井口 務 (廣瀬バルブ工業)
 // 村田秀紀 (阪上製作所)
 // 鳥居良介 (阪上製作所)
 // 鈴木敏充 (イハラサイエンス)
 // 齊藤理人 (日本アキュムレータ)
 オブザーバー 工藤 勉 (経済産業省)
 オブザーバー 阿部利恵 (経済産業省)
 オブザーバー 小松康弘 (野村総合研究所)
 オブザーバー 大野淳一 (JFPA)
 学 生 内田達也 (横浜国立大学)
 // 大塚怜汰 (横浜国立大学)
 // 岡部仁美 (信州大学)
 // 高橋 悟 (信州大学)
 // 田中友季子 (信州大学)
 // 谷 晃希 (信州大学)
 // 森賢太郎 (信州大学)
 // 渡辺あかり (信州大学)
 // 小林和暉 (豊橋技科大学)
 // 藤本裕敬 (豊橋技科大学)

技術委員会空気圧部会第 543 回特許分科会
 開催日 1月26日 (金)
 出席者
 幹 事 栗盛宏樹 (アズビル TACO)
 委 員 井野雅康 (SMC)
 // 出澤 大 (クロダニューマティクス)
 // 赤松直人 (甲南電機)
 // 今野英俊 (コガネイ)
 // 細田一也 (CKD)

技術委員会油圧部会若手技術者懇談会
 開催日 1月29日 (月)
 出席者
 部会長 伊藤和巳 (KYB)
 参加者 石橋恒輝 (KYB)
 // 高田泰宏 (住友精密工業)
 // 金 星 (ダイキン工業)
 // 川俣 智 (東京計器)
 // 小林 萌 (東京計器)
 // 田和尚泰 (日立建機)
 // 新井大二郎 (日立建機)
 // 佃 拓実 (廣瀬バルブ工業)
 // 山本 怜 (不二越)

// 吉田大輝 (油研工業)
 ~~~~~  
 月間行事概要  
 ~~~~~  
 <1月>
 5日 (金)
 ・仕事始め
 11日 (水)
 ・年始会
 ・第82回理事会
 15日 (月)
 ・標準化 (委) 油圧フィルタ・作動油分科会
 16日 (火)
 ・JIS 原案作成本委員会
 17日 (水)
 ・技術 (委) 第3回 ADS 国際標準化規格小委員会
 18日 (木)
 ・標準化 (委) 流量測定分科会
 19日 (金)
 ・標準化 (委) 油圧システム分科会
 24日 (水)
 ・標準化 (委) 制御技術分科会
 25日 (木)
 ・標準化 (委) 油空圧シール分科会
 26日 (金)
 ・ADS 国際標準化推進委員会
 ・技術 (委) 空気圧部会第 543 回特許分科会
 30日 (火)
 ・標準化 (委) 畜・増圧器分科会

☆経済産業省ホームページ

経済産業省の HP では①政策②申請・届出③統計④政策提言⑤情報公開のリンク等から必要な情報が得られます。

<http://www.meti.go.jp/>

☆中小企業庁ホームページ

中小企業庁 HP でも中小企業向け施策に関する多くの情報が得られます。

<http://www.chusho.meti.go.jp/>
